

# 第17 回日本社会福祉学会フォーラム

「地域における子育て支援～ コロナとの共存の時代を迎えて～」

2021. 2. 28

## 市町村の子ども家庭福祉の立場から



枚方市子どもの育ち見守りセンター

八木安理子

# I 市町村子ども家庭福祉の取り組み

## 1. 市町村子ども家庭福祉とは

- 基礎自治体として身近な場所で子どもや保護者を継続的に支援。
- 子ども虐待の発生予防等を図る。
- 児童及び妊産婦の福祉に対す必要な実情の把握や提供を行う。
- 家庭その他の相談に応じ、必要な調査及び指導を行うこと。

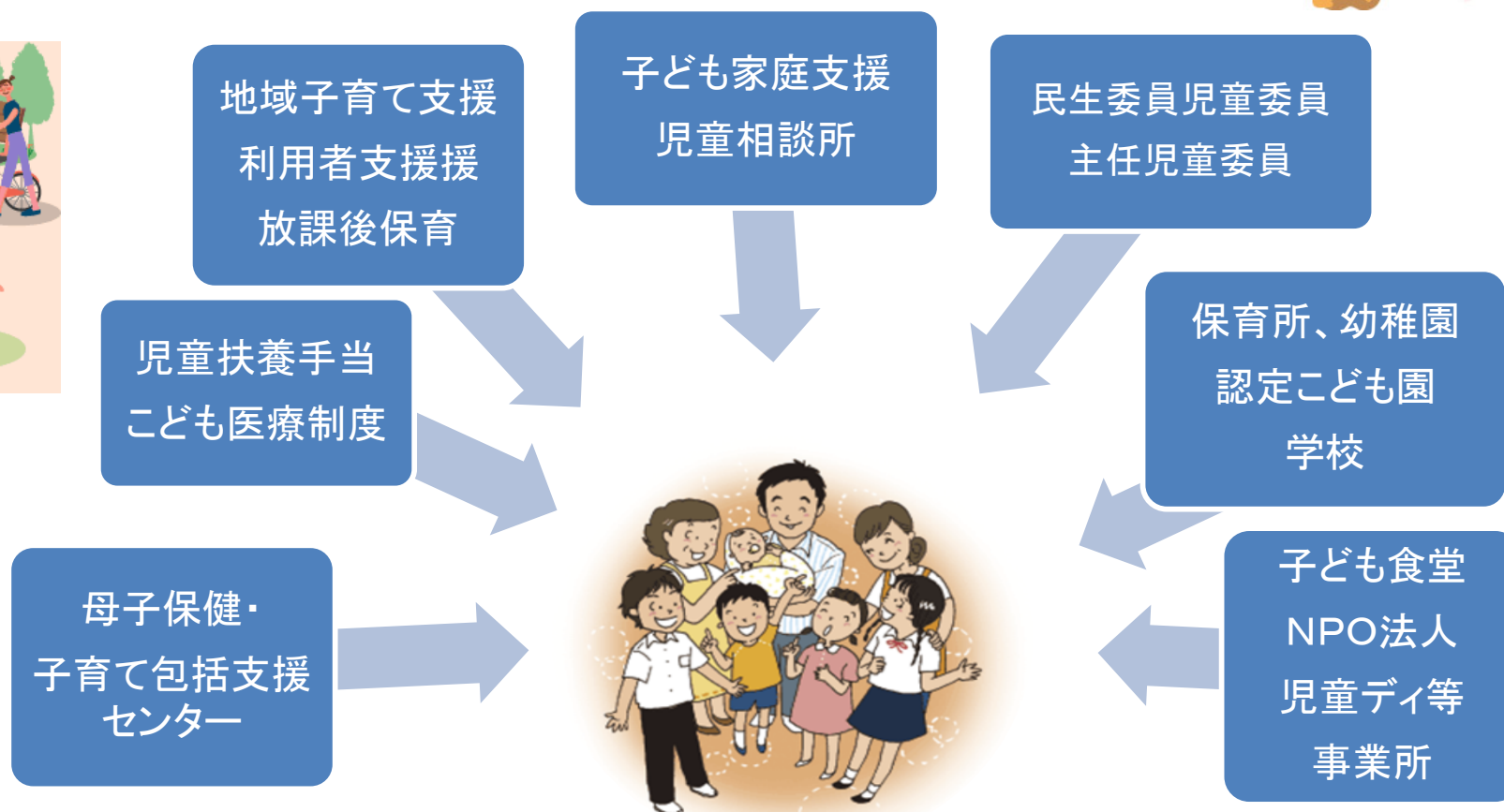
【市町村に求められる機能】 「市町村子ども家庭支援指針」より

1. 拠点づくりとコミュニティを基盤にしたソーシャルワークの展開
2. 子ども家庭支援員及び組織としてのレベルアップ
3. 資源をつなぐ役割
4. 地域づくり
5. 常に生活の場であること

子どもの最善の利益の尊重・子どもの安全の確保の徹底

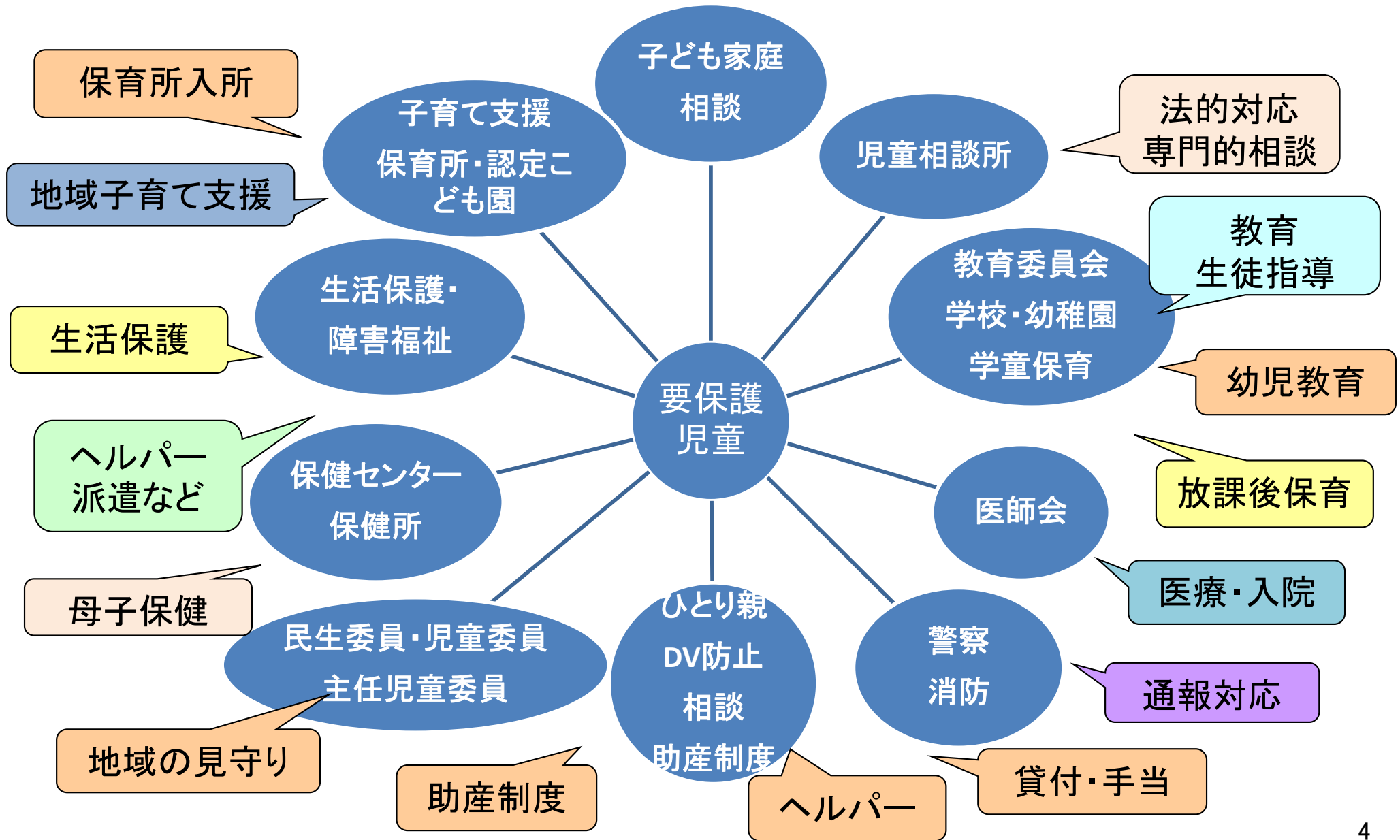
# 市町村子ども家庭支援による在宅支援

- ・ 子どもと家庭に最も身近な基礎自治体
- ・ 多様な機関によるきめ細やかな対応
- ・ 様々なサービスや資源の提供と構築



# 要保護児童へのネットワークによる支援

～要保護児童対策地域協議会の機関連携～



## 2. 枚方市のコロナ禍における子ども家庭支援①

第一期 3～5月の緊急事態宣言と臨時休校

《3～4月》

- 4月10日付厚労省からの調査の通知を受け、枚方市要保護児童中度以上の子どもの現認を実施。
- 教育・母子保健・子ども家庭センター（児童相談所）に要保護児童の名簿を配布し、調整機関で管理。
- 学校や保育所等の所属での現認されたもの、医療機関や民生委員児童委員など関係機関の現認、主担機関による家庭訪問での現認。
- 「ファミリーポートひらかた」でのショートステイでの受け入れ

# 子どもの見守りアクションプラン 厚生労働省通知 R2.4.28

○学校等の休業や外出自粛が継続する中で、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待リスクが高まっている。

○今後も、地域によってはこうした状況が続くことが見込まれるため、様々な地域ネットワークを総動員して、支援ニーズの高い子ども等を定期的に見守る体制を確保し、児童虐待の早期発見・早期対応につなげるため、「子どもの見守り強化アクションプラン」を実施する。

＜実施主体＞ 市町村に設置している要保護児童対策地域協議会（要対協）

＜対象児童等＞ 要対協に登録されている「支援対象児童」、「特定妊婦」

＜実施方法＞

- ・要対協が中核となって、対象児童等ごとに、見守り・支援を主として担う機関（※）を決め、電話・訪問等により状況を定期的に確認（少なくとも週1回）。
- ・地域での見守りについては、行政機関をはじめとした要対協のメンバーだけでなく、民間団体等に幅広く協力を求め、地域のネットワークを総動員して、体制を強化。
- ・状況把握の結果は要対協で集約し、必要に応じ支援・措置（児相による一時保護等を含む）につなげる。※見守り・支援を主として担う機関

就学児童⇒学校（休業中の場合も含む）

就学前児童⇒保育所、幼稚園等（休業中の場合も含む）

特定妊婦⇒市町村の担当部局

未就園児等⇒要対協で主担当を決める

# 枚方市のコロナ禍における子ども家庭支援②

## 第一期 3～5月の緊急事態宣言と臨時休校

### 《5月》「枚方市子どもの見守り強化アクションプラン」

#### ① 実態把握

	対象	所属機関	
学校教育部	就学児童	公立小・中学校	教員より電話・訪問
こども未来部	就学前児童	保育所(園)・幼稚園 認定こども園	園より電話
母子保健担当	特定妊婦・未就園児		保健師等の電話・訪問
となとな	未就園児・就学児童	私立小・中学校、高校等	担当CWの電話・訪問

#### ② アセスメント

主担機関が聴き取り、アセスメントを行い、方針決定

#### ③ 調整機関が調査内容を集約 → 安全確認

#### ④ 教育委員会による見守り活動(全小中校調査)との連携

# 枚方市のコロナ禍における子ども家庭支援③

## 第一期 3～5月の緊急事態宣言と臨時休校

### HP「子どものこころの相談窓口一覧」作成

- 枚方市ホームページに、子どものこころの相談窓口一覧の掲載

### 児童虐待防止とDV施策の連携強化

- 人権政策室男女共同参画担当課と協議し、子どもの状況把握の強化

### 体罰禁止の改正法についての周知啓発

- ポスターの掲示、HPの掲載

### 子どもの居場所づくり推進事業(子ども食堂)における 弁当配布等補助金の交付 及び 要対協との連携

### 大阪図書カードの配布による状況把握



# 枚方市のコロナ禍における子ども家庭支援④

第二期 6～12月 臨時休校が明けてから

**「子どもの居場所づくり推進事業(子ども食堂)における弁当配布等補助金の延長**

**枚方市ホームページへの掲載**

コロナ下の子どもの心の変化や関わり方に関する情報の掲載

**子どもの見守り家庭訪問事業**

支援の必要な家庭の訪問時に配布できる粉ミルクや除菌シート等の購入

# 枚方市のコロナ禍における子ども家庭支援⑤

## 第三期 令和3年1月～ 再び緊急事態宣言

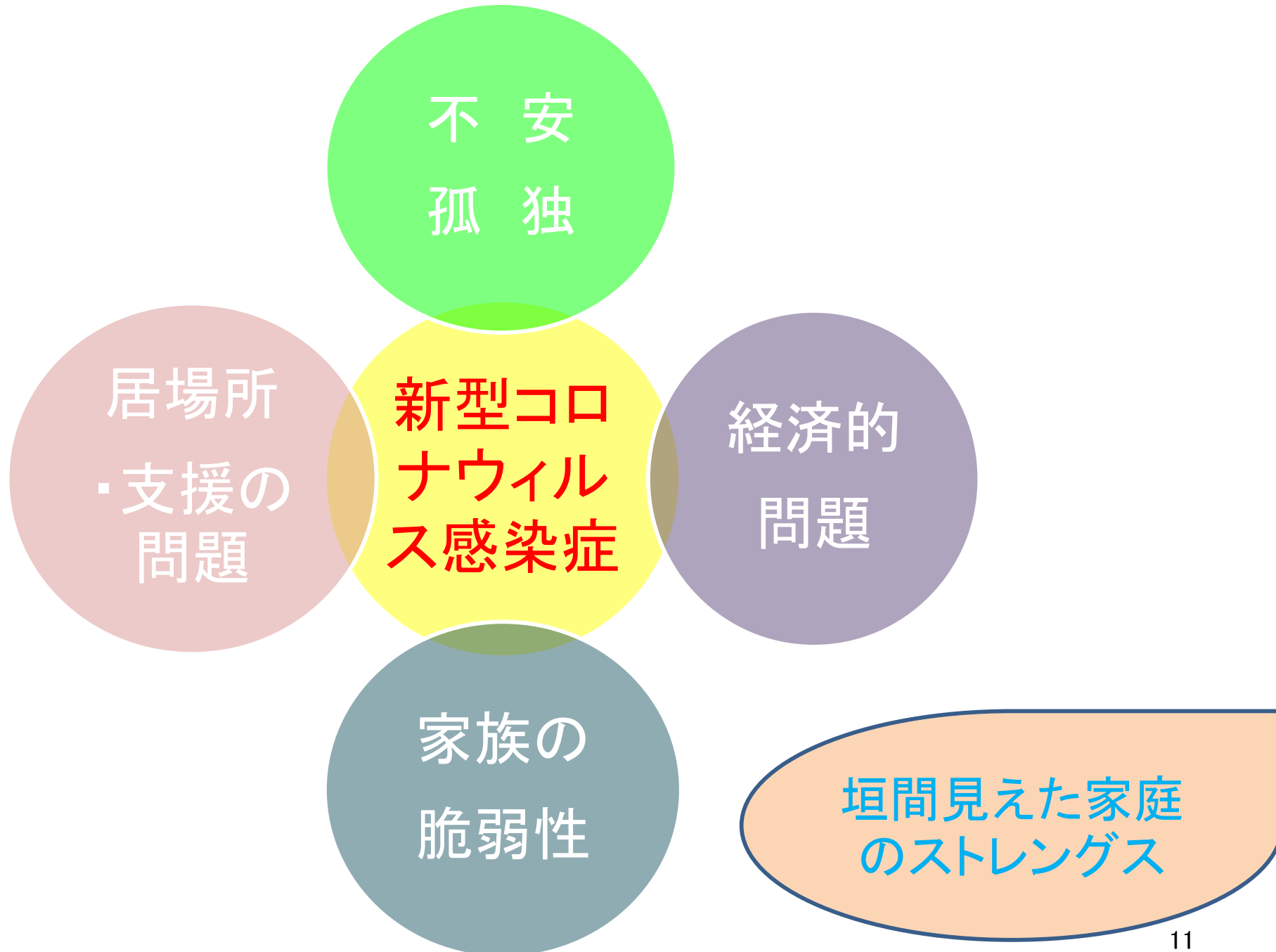
**支援を要する子どもへの安全確認**(厚労省通知 R2. 12.)

教育委員会の見守り活動と並行して、要支援児童の安全確認

**プログラムや講座の中止に替えて動画配信**

前向き子育てプログラム(トリプルP)や子ども支援プログラム(ファンフレンズプログラム)、虐待防止専門研修等の動画配信

## Ⅱ 苦慮した事例から



# Ⅲ 取り組みにおける課題と今後の方策

## 課題・問題

### 子ども家庭

- 元々あった不安定さや脆弱さ。
- 家庭の中の子どもの居場所の圧迫。
- SOSが出せないDV家庭の緊張。

### 学校園・ 地域・行政

- 子どもが子どもらしくできない、安心できない状況。
- コロナ感染症対策のための集団での制限。
- コロナ感染症対策のための子育て事業の制限。

### 社会・環境

- 保護者の解雇や収入減少の問題。
- コロナ感染症への批判的風潮。

- コロナ下における事業の難しさ
- 民間機関との連携の難しさ
- 在宅(未就園)の子ども達の把握の困難さ

# Ⅲ 取り組みにおける課題と今後の方策

今後に向けて

子ども  
家庭

- SOSの出せるSNS相談など様々なチャンネルの工夫と日頃の子どもとの関係づくりの重要性。
- アウトリーチとサービスや資源の開発。

学校園・  
地域・行政

- 教育と福祉の連携の強化。
- 子育て支援・母子保健・福祉・DV防止等との連携強化。
- 民間機関との連携の強化。

社会・環境

- 自立支援事業や貸付等の連携強化。
- 地域連携や啓発活動。

- コロナ下における事業の難しさ ⇒ 動画配信・ウェブ配信などの工夫
- 民間機関との連携の難しさ ⇒ 地域の支援機関との連携の工夫
- 在宅(未就園)の子ども達の把握の困難さ ⇒ アウトリーチの工夫